



Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」
Citation	, 142, 1-24
Issue Date	2012-11-30
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/66235
Type	periodical
File Information	yuin142.pdf



[Instructions for use](#)



榎 蔭

Yuin

北海道大学附属図書館報

目 次

附属図書館本館の再生事業を終えて

- 附属図書館情報管理課長 杉田 福夫…………… 1
お知らせ
- ・ 来館日誌（平成24年7月～平成24年10月）… 5
 - ・ 2012北海道大学オープンキャンパスを実施… 6
 - ・ 平成24年度附属図書館インターンシップ（図書館実習）を実施…………… 7
 - ・ 平成24年度北海道大学全学インターンシップを実施…………… 8
 - ・ 北図書館で札幌市立高等学校職場体験学習の生徒を受入れ…………… 9
 - ・ 知的書評合戦「ビブリオバトル北大予選会～首都決戦への道」を開催…………… 10
 - ・ 本について語り合う「お茶会」を開催…………… 12

- ・ ピア・サポート+北図書館による1年生サポート企画『少年よ、学部を選べ!』を開催…………… 13
- ・ 「STAND UP TAKE ACTION in Hokudai」を開催… 14
- ・ 「ホームカミングデー2012」関連各種イベントを開催…………… 16
- ・ 平成24年度前期研修出張報告会を開催…………… 17
- 教員著作寄贈図書…………… 18
- 学術成果コレクション（HUSCAP）収録文献…………… 19
- 会議（平成24年7月1日～10月31日）…………… 20
- 人事往来…………… 22
- 図書館情報入門・セミナー等開講日誌（平成24年7月1日～11月2日）…………… 22
- 図書館日誌（平成24年7月1日～10月31日）…………… 23

附属図書館本館の再生事業を終えて

附属図書館管理課長 杉田 福夫

「いい図書館ができました！」とテレビ局のインタビューに答えていた学生の笑顔が忘れられません。平成23年7月4日に待望の図書館新棟がオープンしたときのことです。その日、図書館職員は落成記念のクリアファイルを手にワクワクしながら利用者を迎えたものです。昭和40年完成の既存閲覧室から実に50年近くの年月が経っていました。

そして、新棟建設及び既存建物の耐震補強と老朽改修を目的として平成21年12月から始まった図書館再生事業（施設整備Ⅰ期～Ⅳ期工事：図1参照）は、平成24年3月をもって全ての工事を終了しました。その後、書庫内の書架設置と図書配架を終えて、この11月に全面オープンしました。本稿では、事業全体について時系列にエピソードも交えて概観します。

図1 附属図書館再生計画図

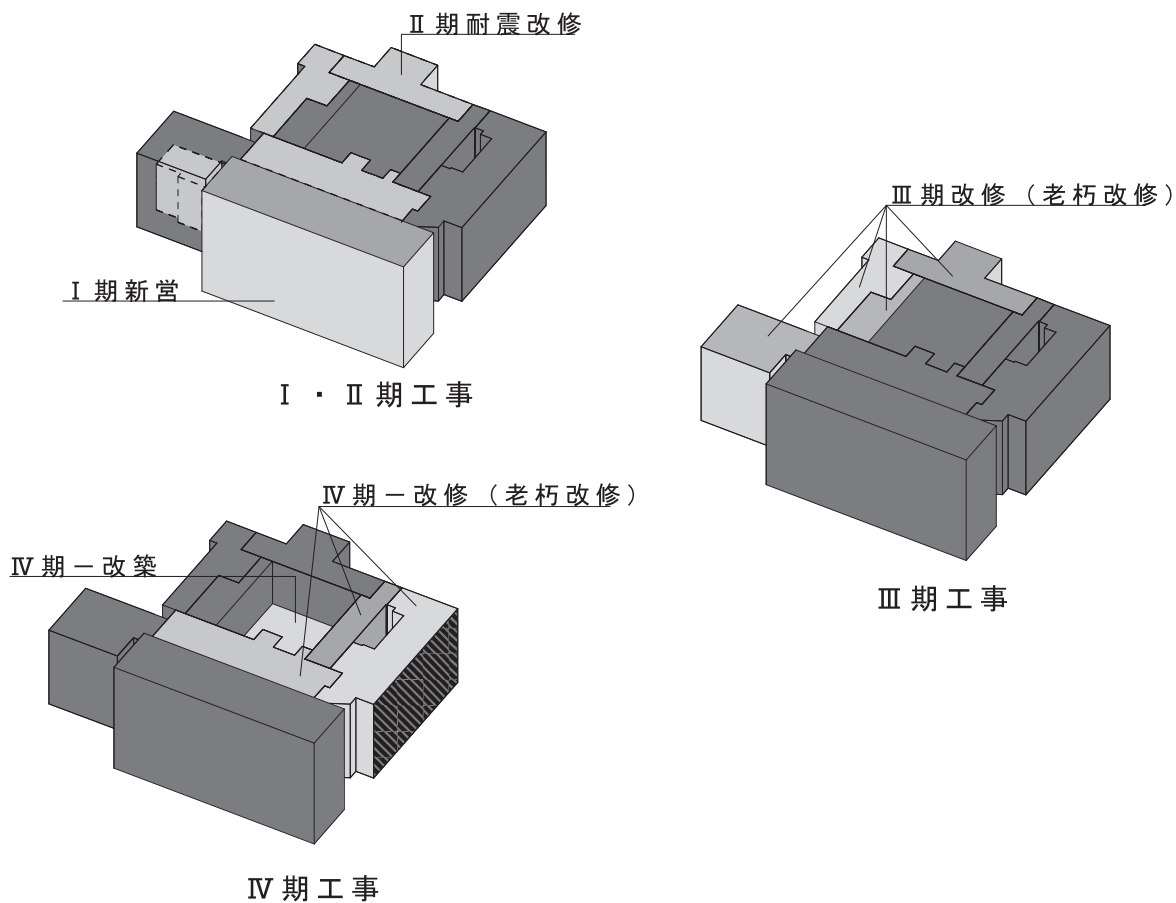
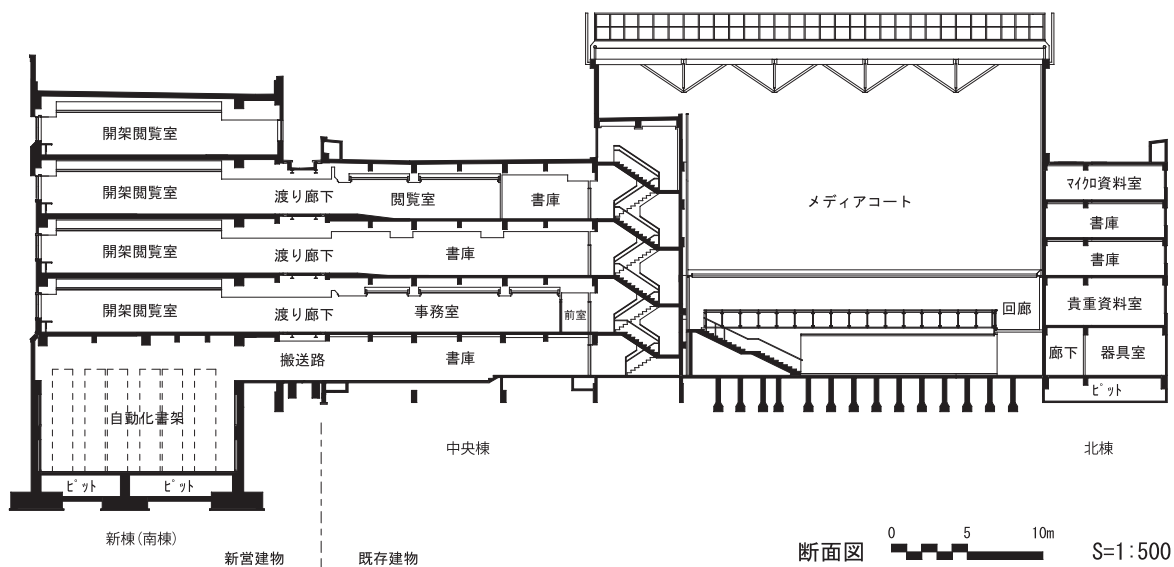


図2 再生後の附属図書館南北断面図



【Ⅰ期：新棟新営（南棟） 工期H22. 2～H23. 4】

工期はⅡ期工事（H21. 12～H22. 3）より後ですが、こちらが先に予算措置され実施設計が行われていたのでⅠ期になります。当初の竣工予定はⅢ期工事と同時期の平成23年3月でしたが、東日本大震災の影響で電気ケーブル等の納期が遅れ4月に延びました。

新棟は正門からほど近く、自然豊かな中央ローンに面し、構内を横断するサクシュコトニ川のほとりに建つ、地上5階、地下2階の建物です。レンガタイル張りの外壁が落ち着いた雰囲気を出し、学生が自主的に学び、集う、学習の場として、研究者の学術研究の場として、一般市民の生涯学習の場として、本学の「地の拠点」にふさわしい新図書館が誕生しました。

新棟は、地下2階から1階が図書54万冊収容可能な「自動化書庫」で、2階から5階が閲覧室です。閲覧室には、パソコン利用や少人数でディスカッションが可能なオープンエリア、講習会等を開催できるリテラシールーム、静かに学習や読書ができるサイレントエリアなど、多様なニーズに対応した学習環境を整備しました。

完成までにはいろいろなことがありましたので、幾つか紹介しておきます。一つは、建設工事に先立って行われた埋蔵文化財発掘調査で、擦文文化の堅穴住居址とそれに付設したカマドが発見されました。このカマドは剥ぎ取りという手法を使って造形保存されました。二つ目は、建設工事が始まると、現場から太いホースを通して大量の水が途切れることなくサクシュコトニ川に放水されていたことです。気になっていたので施設部に問合せたところ、これは脱水工法（ディープウェル工法）と呼ぶ工法で、地下水位を下げた上で工事を行うためとのこと。川のほとりに建つ図書館であることを再認識した次第です。三つ目は、新棟工事と並行して行われた既存棟の外壁工事についてです。外壁を剥がす音は凄まじく、数百メートル先まで響き渡り、大学近辺にお住まいの市民から苦情があっ

たほどでした。この外壁工事は、騒音もさることながら粉じんが大量に飛散します。これを防ぐため窓を閉め切りビニールで覆っていました。平成22年の夏は記録的な猛暑が続き、暑さに粉じんに騒音と三重苦のつらい日々でした。図書にとっても過酷な状況に変わりなく、書庫内蔵書の一部にカビが発生してしまいました。過去には聞いたことがありませんでした。カビは直ぐに確実に除去しなければなりませんので、専門の業者に作業を依頼しました。



新棟（南棟）の外観

【Ⅱ期：耐震改修（中央棟、西棟、北棟）

工期H21. 12～H22. 3】

既存棟の耐震補強工事は、新棟新営工事に先立ち行われました。中央棟には閲覧室がありましたが、閉室することなく工事を行いましたので、ドリル音がものすごく、思わず耳をふさぐという状況でした。驚いたのは、そんな騒音の中でも平然と学習している利用者が何人もいたことです。すごい集中力だと、ただ感心するばかり。

【Ⅲ期：老朽改修（玄関棟・西棟・北棟）

工期H22. 11～H23. 5】

玄関棟には、玄関ホール（図書館全体から見ると2階）の他に居心地の良いラウンジとグループ学習室が整備されました。3階のラウンジから玄関ホールを眺めると本学の校章が見られます。さらに上階にあるグループ学習室の窓からの眺めは最高です。本学中央ローンや札幌市の中心街と山並みが一望できます。

西棟には北方資料室、北棟には貴重資料室とマイクロ資料室を配置し、この他は全て書庫となっています。

改修工事で難問だったのが165万冊の図書と解体した書架及び什器をどうするか、ということです。利用の多い図書は館内で移動し、それ以外の図書及び書架・什器類は学内の施設8カ所に分散退避しました。当初館外退避予定だった利用の多い図書を館内移動でやり繰りするなど、教育研究への影響を極力少なくするよう努めました。大変苦心した点でもあります。

一方、改修する棟が変わる度に、利用者窓口のカウンターと事務室は二度三度と移転を行い、度々の引越しに伴う準備には閉口しました。また、カウンターと事務室が玄関ホールに移転していた時期があり、特に冬の寒い日はここで働く職員は大変な思いをしました。

【IV期：老朽改修（中央棟・東棟）、改築

（メディアコート） 工期H23. 3～H24. 3】

中央棟は4階建てで、1階と3階が書庫、2階がカウンターと事務室、4階が新棟につながる閲覧室と一部が書庫、という構成です。この中央棟ですが、工事前の調査でアスベストが発見され、除去作業により工期が大幅に変更となりました。

東棟は一部が中央棟の事務室とつながる事務室となっていて、それ以外は全て書庫です。

既存棟の中央に位置し、約80万冊の図書を収容していた既存不適格な積層書庫の解体は、改修工事のハイライトとも言えるものでした。大型のクレーンが設置され、建物に囲まれて真ん中に位置する積層書庫から取り壊した書架を4階まで吊り上げては建物の外側に出すという作業を繰り返していました。その後は逆に、積層書庫を解体した後の場所に造られたメディアコート用の建材を搬入するため、外から中に長いアームを伸ばし移動させていました。すごい迫力でした。

積層書庫解体後の空間は、本再生事業の基本設計では中庭として整備することになっていま

した。しかし、実施設計段階で、この空間は全体の延床面積の関係で閲覧室や書庫など図書館本来の用途には使用できないが、「屋根を付けることで有効に活用できるのではないか」として、現在のメディアコートにすることが決まりました。メディアコートは4階吹き抜けの開放的な空間で、普段は飲食可能な憩いの広場であり、他には展示やイベント会場として活用されています。

これと並行して、文系部局と玄関ホールを直結する渡り廊下が設置され、利便性の向上が図られました。冬の北海道では特にありがたい存在です。

図書館では再生事業に臨むにあたり、1) 学習支援機能の充実、2) 利便性の向上、3) 図書収容力の増強、4) 事務の集約化、この4つのコンセプトを立てました。これらは全て達成されました。

閲覧室が拡充され、開架図書収容可能数14万冊から18万冊へ、閲覧座席数576席から743席へ、教育情報システム10台から71台へと充実されたことなど、本学の中期目標の一つである「世界水準の人材育成システムの確立」のため、図書館がその一翼を担う学習環境を提供できるようになったと信じています。また、従来は複数個所に分散していた利用者窓口を1カ所に集約し、玄関と同一フロアに配置するなど利便性の向上を図り、5カ所に点在していた事務室も一体化することができました。

バリアフリー化を進め、防犯カメラや書庫用非常時通報ボタンを設置するなど、人にやさしく安全で安心な施設、管理された空調や館内の7割強にLED照明を採用するなど省エネルギーに配慮した施設、が完成しました。

再生事業を機に、今後も「いい図書館ですね」と言ってもらえるよう、職員一同、教育研究支援の内容のさらなる充実を図ってまいります。

最後に、図書館の再生事業にあたってご尽力下さいました全ての方々に、厚くお礼申しあげます。本当にありがとうございました。

お知らせ

来館日誌

(平成24年7月～10月)

No.	来館者	来館日	時間	人数	備考
1	厚真町立厚南中学校	7月5日(木)	10:00-10:30	16	図書館見学
2	藤女子大学 図書館司書課程「資料特論」受講者	8月6日(月)	14:00-14:30	25	展示見学
3	茨城大学 小野寺淳図書館長	8月21日(火)	14:30-15:30	1	図書館見学
4	札幌市立北翔養護学校 田山祐介氏 他	9月7日(金)	11:15-11:45	8	図書館見学
5	北海道ハイテクノロジー専門学校	9月7日(金)	14:30-16:00	47	図書館見学
6	信州大学 笹本正治附属図書館長	9月18日(火)	9:00-11:00	1	図書館見学
7	北陸大学 金澤ゼミ 金澤 泉氏 他	9月21日(金)	16:00-17:00	24	図書館見学
8	金澤大学 東 雅彦情報部長 他	9月24日(月)	16:00-17:00	2	図書館見学
9	岡山大学財務企画課総務・管財グループ 大角真範主査 他	9月27日(木)	15:30-16:00	3	図書館見学
10	韓国国家記録院 Lee-Kang-soo 氏 建国大学 韓 恵仁先生	10月24日(水)	10:00-11:30 14:40-15:30	2	史料調査
11	アジア経済研究所図書館資料企画課 小林磨理恵氏 他	10月26日(金)	9:30-10:10	3	図書館見学 HUSCAP
12	北海道大学障がい学生支援推進 プロジェクト(北大元気プロジェクト)	10月28日(日)	16:00-17:20	7	図書館見学
計				139	

2012北海道大学オープンキャンパスを実施

8月5日(日)に「2012北海道大学オープンキャンパス」自由参加プログラムとして、附属図書館では館内ツアー等を実施しました。

本館では、図書館蔵書目録を検索し、図書や雑誌に辿り着くまでを体験する検索体験や館内ツアーが催され、自由見学と合わせて、562名の参加がありました。

北図書館では、開架閲覧室、多数の学生用パソコンや映像資料を備えているマルチメディア公開利用室等を案内するツアーを実施しました。館内ツアー及び自由見学を合わせて、210名の参加がありました。

各館の実施内容は次のとおりです。

【本館】

◆内容

- ・検索体験 (20分)
- ・館内ツアー (20分)

◆時間 10:00から14:20まで、検索体験を2回、館内ツアーを3回実施

◆配布資料 「本館利用案内」「蔵書検索の使い方」

◆参加者数 62名

各回合計。その他自由見学者は500名(8月5日:378名,8月6日:122名)

【北図書館】

◆内容

- ・館内ツアー (15分)

◆時間 10:00から17:00まで、合計12回実施

◆配布資料 「北図書館利用案内」「北図書館パンフレット」

◆参加者数 46名

各回合計。その他自由見学者は164名(8月4日:3名,8月5日:155名,8月6日:6名)



館内ツアー(本館)の様子

(利用支援課)

平成24年度附属図書館インターンシップ(図書館実習)を実施

附属図書館では、他大学からの図書館実習の要請を受けてインターンシップ(図書館実習)を実施しています。今年度は8月20日(月)から28日(火)までの(土日を除く)7日間に北海道武蔵女子短期大学3名と藤女子大学3名の実習生を、また、8月20日(月)から8月31日(金)までの(土日を除く)10日間に筑波大学1名の実習生を受け入れ実施しました。

図書館実習は、実際の図書館業務を体験してもらい、職業意識を高めることを目的とし、短期間であってもほぼ全業務を体験できるようにプログラムを作成しています。実習を終えた学生からは、「リポジトリなど大学図書館ならではの仕事をすることができた」「講義にはない実際の図書館業務を体験でき、大変勉強になった」などの感想が多く寄せられました。



オリエンテーションの様子



リテラシールームで行った業務演習の様子

(利用支援課)

平成24年度北海道大学全学インターンシップを実施

附属図書館では、昨年度より「北海道大学インターンシップ」の学生を受入れています。今年度は8月27日（月）から9月4日（火）までの7日間、3名の学生を受入れました。

全学インターンシップは、高い職業意識の育成や実社会に触れることによる学習意欲の向上等を目的として学生が自らの専攻や将来のためのキャリアに関連した就業体験を行うものです。また受入れる附属図書館も一利用者でもある実習生から図書館サービスに対する提案を聞くという目的を持って実習プログラムを作成しています。

初日はオリエンテーションの中で、実習生の志望動機や各自の課題と本館が抱える利用者サービスの課題等について意見交換を行いました。その後、蔵書検索、図書や雑誌の収集・保存、電子ジャーナルの契約、機関リポジトリ(HUSCAP)登録、図書の目録、窓口業務、レファレンス業務、情報リテラシー業務等、主な図書館の業務を体験してもらいました。

最終日には成果発表としてプレゼンテーションを行い、それぞれの業務に対する感想や意見をまとめていただきました。プレゼンテーションに続いて、実習生と図書館職員との意見交換会を行いました。実習生からは「たくさんの業務を経験することで全体像を把握できた。後輩にもぜひ勧めたい」「この実習を通して自分の研究に有益なサービスがたくさんあることを知った」「コツコツと取り組む仕事が自分には向いていると感じた」「図書館の仕事は意外と体力が必要だった」などの感想が寄せられました。また、TwitterやFacebook等を利用した広報についての提案をいただき、双方にとって有意義な実習になりました。



実習の様子（蔵書点検）



実習の様子（窓口業務）



プレゼンテーションを行う実習生



実習生と図書館職員との意見交換会

(利用支援課)

北図書館で札幌市立高等学校職場体験学習の生徒を受入れ

北図書館では、札幌市教育委員会からの依頼により札幌市立高等学校職場体験学習の生徒を昨年度より受入れています。今年度は8月29日（水）に藻岩高等学校2年生男子生徒3名、9月19日（水）に平岸高等学校2年生女子生徒3名を受入れました。

この事業は、職場体験をすることにより、職業に関する理解をさらに深めさせるとともに、自分自身を発見し、生き方や進路について深く考えてもらうことを目的としています。

当日は、北図書館でオリエンテーションや館内ツアーを行った後、実際にカウンター業務、本の配架、本の装備、蔵書点検などの図書館業務を体験してもらいました。また、事前に説明していた課題についても業務を体験しながら対応策を考え、プログラムの最後に課題への取組について、プレゼンテーションをしてもらいました。

参加した生徒さんからは「図書館の仕事は楽なイメージがありましたが、実際は力仕事などもあり、大変だと感じました」「僕も北大に入り、北図書館を使いたいと思いました」「普段図書館で見ている姿以外にも沢山の仕事をされていることに驚きました」などの感想が寄せられました。



本の装備を体験する藻岩高校生



課題への取組成果を発表する藻岩高校生



カウンター業務の説明を聞く平岸高校生



蔵書点検を体験する平岸高校生

(北図書館)

知的書評合戦 「ビブリオバトル北大予選会～首都決戦への道～」を開催

9月10日(月)午後3時から、附属図書館本館メディアコートにおいて、附属図書館主催による「ビブリオバトル北大予選会～首都決戦への道～」を開催しました。ビブリオバトルとは、出場者が好きな本を持ち寄ってその本のおもしろさを紹介し、その中で一番読みたくなった本(チャンプ本)を参加者全員が投票で決める書評会です。

今回のビブリオバトルは、10月に東京で開催される「ビブリオバトル首都決戦2012」への出場権をかけた予選会で、道内では北海道大学の他、北海道教育大学札幌校など5校で開催されました。会場には学外からも多くの学生や一般市民が訪れ、6名の出場者が持ち時間5分で1冊の本の魅力を語る様子を熱心に観戦しました。

優勝者は投票数35票中10票を獲得した北海道大学公共政策大学院の乾直樹さんで、チャンプ本は「LOVE理論」(水野愛也著/大和書房)。著者のユニークな恋愛理論をユーモアを交えて紹介しました。他の5名の出場者も優勝を逃したとはいえ個性あふれる熱いバトルを繰り広げ、延べ67名の観戦者を魅了していました。

予選会終了後は、引き続きメディアコートで、出場者、観戦者、学生団体「北大ビブリオバトル実行委員会」による交流会が行われ、好きな本やジャンルについて大いに語り合いました。

また、その日のアンケートでは、回答者全員が「ビブリオバトルをまた観戦したい」と答え、好評のうちに予選会を終了することができました。

なお、乾さんは9月28日(金)に紀伊国屋書店札幌本店で開催された北海道地区ブロック決戦に出場し、優勝はなりませんでしたが、独特の楽しい語り口で本を紹介し、会場を沸かせました。

ビブリオバトル北大予選会で紹介された本 (紹介順)

「中島敦」(ちくま日本文学12)筑摩書房(法学部4年 西川亮輔)

★「LOVE理論」水野愛也著、大和書房(公共政策大学院修士課程1年 乾直樹)

「どくとるマンボウ航海記」(新潮文庫)北杜夫著、新潮社(教育学部3年 蒔苗詩歌)

「怪盗クイーンの優雅な休暇」(青い鳥文庫)はやみねかおる著、講談社(総合教育部1年 八島夕貴)

「プレゼンテーションzen」ガー・レイノルズ著、ピアソン・エデュケーション(工学院修士課程2年 吉田貴昭)

「不道德教育講座」(角川文庫)三島由紀夫著、角川書店(北海学園大学法学部4年 泉谷琢磨)

★はチャンプ本



メディアコートでの開催風景



出場者の記念撮影



交流会の様子

(利用支援課)

本について語り合う「お茶会」を開催

附属図書館では、9月14日(金)に本館ラウンジにおいて、学生団体「北大ビブリオバトル実行委員会」との協働による、「お茶会」を開催しました。お茶会とは、お茶やお菓子を囲みながら、本好き同士で交流しようというイベントです。初めて開催した今回は、スタッフを含む11名での実施となりました。

はじめは緊張した様子も見受けられた参加者たちでしたが、持ち寄った本の紹介をするうちに話はずみ出しました。好きな作家やジャンルといった本に関することはもちろん、そこから派生して、本好きの人たちが好きなもの・ことを語り合う自由な雰囲気的时间が流れました。

予定時刻を過ぎてからも話は尽きず、その様子からは、「自分の知っている本の面白さを共有したい!皆が知っている本の面白さも共有したい!」という熱気が感じられました。

参加者からは、「読んでみたい本ができた」「趣味の合う人と出会えた」「またこのような企画をしてほしい」といった感想をいただきました。



持参した本を紹介する様子



紅茶を飲みながらお話しました

(利用支援課)

ピア・サポート＋北図書館による1年生サポート企画『少年よ、学部を選べ!』を開催

北図書館では、国立大学図書館協会地区協会助成事業「学生協働活性化のためのシーズ開発」として、先輩学生が1年生に学部選択のための参考となる図書の紹介をする企画『少年よ、学部を選べ!』をピア・サポートと協働で実施しました。

本企画は、先輩学生が自分の所属する学部・学科等での研究に関連する本や、自分が学部を選ぶときに参考になった本を紹介し、自分の所属する学部の魅力を語ることで、1年生の学部選びの参考にしようというものです。

ピア・サポートの学生は、広報活動をはじめとして、1年生に本を紹介する先輩学生集め、ポスター作成の助言などに大いに力を発揮してくれました。

実施期間中（9月24日～28日）は、200名近い1年生が会場のピア・サポート室を訪問し、先輩学生と熱心に話をする光景が見られました。

会場アンケートでは、「いろいろな学部の話聞いてとてもよかった」「自分の知らない学部・学科について詳しく教えていただいてとても参考になりました。自分の可能性が広がりました!」と好評をいただきました。また本企画の運営に参加した学生からも「私自身、学ばせていただくことが多く私にとっても意義のある企画でした」との意見がありました。

最後になりますが、本企画実施に先立ち、学務部、アカデミック・サポート・センターの皆様にご助言をいただきましたことを深謝いたします。



左) 説明の様子
下) ポスターから



(北図書館)

「STAND UP TAKE ACTION in Hokudai」を開催

附属図書館は、国連寄託図書館に指定されており、国連資料の所蔵・提供だけでなく、国連の広報活動にも協力しています。

10月17日（水）18:30よりメディアコートにて「STAND UP TAKE ACTION in Hokudai」を開催しました。「STAND UP TAKE ACTION」は、世界の貧困解決と国連の「ミレニアム開発目標」達成を訴えて「立ち上がる」世界的なキャンペーンです。また、当イベントは「北海道大学サステナビリティ・ウィーク2012」に一企画として参加しました。

当日は雨の降るなか、学生、教職員、市民の方あわせて85名のみなさまにお集まりいただきました。最初に附属図書館より国連資料の利用ガイダンスを行った後、工学研究院の佐野大輔准教授にミニ講演をしていただきました。さらに、小林隆英さん（農学部4年）と、国際協力学生団体「結〜yui」の吉川祐作さん（総合教育部1年）と岡泉佑奈さん（総合教育部1年）に国際協力活動の事例報告を行っていただきました。最後に新田孝彦附属図書館長の「スタンド・アップ！」の掛け声のもと、参加者全員で一斉に立ち上がり、世界から貧困をなくしたいという意志を示しました。

アンケートの回答には「自分も何か行動を起こそうと思った」「国際協力活動をしているが、刺激になった」といった感想が寄せられました。このイベントをきっかけに、世界の貧困解決に向けて、行動を起こしていただければ幸いです。行動を起こすのにあたり、ぜひ図書館にある関連資料をご活用ください。世界の貧困や開発について考えるうえで、北大の先生たちのおすすめの本をブログ（<http://booklog.jp/users/hokudai>）にて紹介しています。また、国連資料も世界の動きを知るうえで役に立つはずです。

なお、イベントに先立ち、9月24日（月）より10月17日（水）まで正面玄関ホールにて、パネル展示「Introduction to STAND UP TAKE ACTION in Hokudai」を行いました。「ミレニアム開発目標」の解説や、世界の貧困や開発についての、北大の先生へのインタビューを掲示しました。パネル原稿はHUSCAPに収録していますので、次のURLからご覧ください。 <http://hdl.handle.net/2115/50172>



佐野大輔准教授のミニ講演
「世界の貧困問題解決のために、
あなたは何をイメージしますか」



小林隆英さんの事例報告
「孤軍奮闘！ フィリピン
カミギン島におけるインターン」



国際協力学生団体「結～yui」の事例報告
「なにができるか、なにをするのか」



「スタンド・アップ！」に先立ち、
新田孝彦附属図書館長の話に耳を傾ける参加者



参加者全員でスタンド・アップ！

(利用支援課)

「ホームカミングデー2012」関連 各種イベントを開催

附属図書館は、本学「ホームカミングデー2012」の開催に合わせて、10月6日（土）に図書館ツアーを開催しました。また、10月6日（土）～8日（月）には展示会を玄関ホール及びメディアコートで開催しました。図書館ツアー及び展示会併せて本学同窓生17名の参加がありました。

「ホームカミングデー2012」とは、本学を卒業された同窓生の方々が、学部、地域及び年代の枠を超えて母校に集い親睦を深めることにより同窓生相互の発展と連帯を強めるとともに、本学教職員・学生との交流により、母校の現状、教育研究の諸活動を知っていただき、本学との連携や相互理解を深めることを目的として10月6日（土）に本学主催により開催されたものです。

附属図書館ではこの趣旨に賛同し、上記のイベントを開催しました。

図書館ツアーでは、3年に及び改修・新築工事を終え、新しく生まれ変わった附属図書館の快適で居心地の良いメディアコート、道内最大規模の自動化書庫などを中心に参加者を案内しました。

また、展示会は「“台湾は天然の恩恵裕なる” —植民地台湾を駆けた北大卒業生たち」、 「“エルムの森”の青春 —北大生の群像 1876～1949」と題した2つのテーマで開催しました。前者は、戦前期、台湾に渡り技師、経営者、教員などとして、日本による台湾植民地統治を下支えし、台湾へ様々な学術・技術を持ち込んだ北大卒業生に関する文書や写真資料を展示することにより本学、日本及び台湾との歴史的な交流の考察を目的としたものです。後者は、札幌農学校時代から北海道大学に至るまでの北大生の生活の様子に関する図書、文書、写真資料で辿り、その時代を生きた北大生の群像を描くことを目的としたものです。

附属図書館を訪れた同窓生の方々は、図書館ツアーで附属図書館内を楽しまれ、展示会会場に展示された貴重な資料に興味深く見学されていました。



メディアコートの展示を見学する見学者



改修後の施設に驚く図書館ツアー参加者

(管理課)

平成24年度前期研修出張報告会を開催

9月18日（火），附属図書館大会議室において，附属図書館職員による前期研修出張報告会を開催し，24名の参加がありました。

この報告会は，当該年度に図書業務関係の研修等に参加した職員が，今後図書館が取り組むべき課題や最新情報について，学内の図書系職員に研修内容を発表し，全学的な情報の共有化を図ることを目的としたものです。今年度は前期，後期の2回に分け開催します。

最初に，新田館長から「1人1つは質問してほしい。質問はどういうことに着目しなければいけないか，どういう事に気をつけて発表するかというフィードバックに必要」との挨拶がありました。報告毎の質疑応答は活発に行われ，今後の方向性や業務に関わる質問が相次ぎ，報告会は盛会裡に終了しました。

前期報告会の報告内容と報告者は次のとおりです。

1. 「大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）版元提案説明会」（平成24年9月12日 明治大学）
高野直樹（管理課雑誌受入担当）
2. 「平成24年度大学図書館職員長期研修」（平成24年7月2日～13日 筑波大学）
小林泰名（利用支援課相互利用担当）
3. 「平成24年度図書館等職員著作権実務講習会」（平成24年8月8日～10日 東京大学）
佐々木翼（利用支援課本館閲覧担当）
4. 「第17回国際電子出版EXPO：IDPFコンファレンス，EPUB3/DAISYはバリアフリー読書を支援する」（平成24年7月4日～5日 東京ビッグサイト）
菊池満史（利用支援課北図書館担当）



質問する参加者



発表者（左から菊池，佐々木，小林，高野）

（管理課）

教員著作寄贈図書

(平成24年6月1日～平成24年9月30日)

寄贈者 (敬称略)	所属部局	寄贈図書	所在
宇都宮輝夫	文学研究科	宗教の見方：人はなぜ信じるのか / 宇都宮輝夫著. — 勁草書房, 2012. 9	本館・開架・教員著作
奥山 史亮	文学研究科	エリアードの思想と亡命：クリアースとの関係に置いて / 奥山史亮著. — 札幌：北海道大学出版会, 2012. 8. — (北海道大学大学院文学研究科研究叢書；21)	本館・開架・教員著作 北図書館・一般図書
河口 暁弘	文学研究科	きのうの日本：近代社会と忘却された未来 / 鶴飼政志, 河口暁弘著. — 有志舎, 2012. 9	本館・開架・教員著作 北図書館・一般図書
千葉 恵	文学研究科	Definition in Greek philosophy / edited by David Charles ; : hbk. — Oxford University Press, 2010.	本館・開架・教員著作
見附 陽介	文学研究科	象徴機能と物象化：人間と社会の時代診断に向けて / 見附陽介著；. — 北海道大学出版会, 2011. 9.	本館・開架・教員著作
森永 貴子	文学研究科	イルクーツク商人とキャプタ貿易：帝政ロシアにおけるユーラシア商業 = Иркутское купечество и кяхтинская торговля: коммерция Эвразии в императорской России / 森永貴子著；. — 北海道大学出版会, 2010. 10.	本館・開架・教員著作
佐藤 猛	元文学研究科	百年戦争期フランス国制史研究 / 佐藤猛著	本館・開架・教員著作
加藤 智章	法学研究科	社会保険の法原理 / 菊池馨実編. — 法律文化社, 2012	本館・開架・教員著作
白取 祐司	法学研究科	フランスの刑事司法 = La justice pénale en France / 白取祐司著；. — 日本評論社, 2011. 3.	本館・開架・教員著作
道幸 哲也	法学研究科	労働組合の変貌と労使関係法 / 道幸哲也著；. — 信山社, 2010. 7. — (学術選書；45. 労働法).	本館・開架・教員著作
吉田 邦彦	法学研究科	都市居住・災害復興・戦争補償と批判的「法の支配」 / 吉田邦彦著. — 東京：有斐閣, 2011. 3. — (北海道大学大学院法学研究科叢書；19. 民法理論研究；第4巻).	本館・開架・教員著作
邱 麗珍	元法学研究科	日本の対中経済外交と稲山嘉寛：日中長期貿易取決めをめぐる / 邱麗珍著；. — 北海道大学出版会, 2010. 11.	本館・開架・教員著作
谷口 勇仁	経済学研究科	企業事故の発生メカニズム：「手続きの神話化」が事故を引き起こす / 谷口勇仁著. — 東京：白桃書房, 2012. 6.	本館・開架・教員著作
今井 一郎	水産科学研究院	シャットネラ赤潮の生物学 = Biology and ecology of Chattonella Tides / 今井一郎著. — 生物研究社, 2012. 7.	本館・開架・教員著作
三上 浩司	水産科学研究院	Porphyra yezoensis: frontiers in physiological and molecular biological research / editor, Koji Mikami ; : hbk. — New York: Nova Science Publishers, c2012.	本館・開架・教員著作 北図書館・一般図書
荒井 真一	地球環境科学研究院	環境政策入門：政策実務者が書いたこれ一冊で分かる環境政策 / 盛山正仁編著；荒井真一 [ほか] 著；. — 武庫川女子大学出版部, 2012. 4.	本館・開架・教員著作 北図書館・一般図書
久保 拓弥	地球環境科学研究院	データ解析のための統計モデリング入門：一般線形モデル・階層ベイズモデル・MCMC / 久保拓弥著. — 岩波書店, 2012. — (確率と情報の科学 / 甘利俊一, 麻生英樹, 伊庭幸人編；第1期)	本館・開架・教員著作 北図書館・一般図書
石岡 丈昇	教育学研究院	ローカルボクサーと貧困世界：マニラのボクシングジムにみる身体文化 / 石岡丈昇著；. — 世界思想社, 2012. 2.	本館・開架・教員著作
池上 重康	工学研究院	明治初期日本政府蒐集船載建築書の研究 / 池上重康著；. — 北海道大学出版会, 2011. 9.	本館・開架・教員著作
田畑伸一郎	スラブ研究センター	環オホーツク海地域の環境と経済 / 田畑伸一郎, 江淵直人編著. — 北海道大学出版会, 2012. 3. — (スラブ・ユーラシア叢書；11)	本館・開架・教員著作
加藤 克	北方生物圏 フィールド科学センター	ブラキストン「標本」史 / 加藤克著；. — 北海道大学出版会, 2012. 9.	本館・開架・教員著作
松本 秀人 山村 高淑	観光学高等研究センター	地域社会による文化資産マネジメントとツーリズム：沖縄県・竹富島の事例研究 / 池ノ上真一著. 2012. 3. — (CATS叢書；第6号)	本館・開架・教員著作 北図書館・一般図書
松本 秀人 山村 高淑	観光学高等研究センター	観光資源としてのコンテンツを考える：情報社会における旅行行動の諸相から / 山村高淑, 岡本健編. 2012. 3. — (CATS叢書；第7号)	本館・開架・教員著作 北図書館・一般図書
三上 直之	高等教育推進機構	市政への市民参加の推進と討論型世論調査：平成23年度札幌市大学提案型共同研究報告書 / 研究代表者 三上直之. — 札幌：北海道大学高等教育推進機構・三上直之, 2012. 3.	本館・開架・教員著作 北図書館・一般図書

ご惠贈誠にありがとうございました。
 図書館では本学教員が執筆した図書を収集しています。新たに本を出版される際には、是非ご惠贈くださるようご協力お願い致します。また、北京大学図書館との相互交流および協力に関する覚書の締結に基づき、北京大学との交換用にもう1冊分、ご寄贈くださいますようご協力をお願い致します。とりまとめは、附属図書館で行います。

学術成果コレクション (HUSCAP) 収録文献

(平成24年6月1日～9月30日)

新たに、422名の研究者の方々からご提供いただいた603件の文献を公開しました。

また、10研究科等の16タイトルの紀要(文献169件)も公開しました。

HUSCAPについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>

附属図書館では、本学の研究者が執筆した論文や学会発表資料等の文献を収集し、HUSCAPにて保存・公開しています。

新たに論文等を発表された際には、repo@lib.hokudai.ac.jpへファイルをお送りください。

ご協力よろしくお願いいたします。



会議 (平成24年7月1日～平成24年10月31日)

【学内】

◎図書館委員会

○第223回〈7月11日(火)〉

議 題

- 1 平成23年度決算について
- 2 平成24年度予算について
- 3 平成25年度学術研究コンテンツ(電子ジャーナル等)の整備について
- 4 平成24年度附属図書館事業計画について
- 5 規程類の改正について
 - (1) 北海道大学附属図書館利用規程
 - (2) 北海道大学附属図書館北図書館規程
 - (3) 北海道大学附属図書館北図書館規程に関する申合せ
- 6 本館書庫への学部生の入庫について
- 7 その他

報告事項

- 1 会議報告(学内)
 - (1) 北図書館委員会
 - (2) 学術成果発信小委員会
 - (3) 図書選定小委員会
- 2 会議報告(学外)
 - (1) 第44回国立大学図書館協会北海道地区協会総会
 - (2) 第59回国立大学図書館協会総会
- 3 附属図書館本館再生事業に伴う書庫内図書の利用について
- 4 図書の資産管理について
 - (1) 会計監査人による指摘事項の対応策について
 - (2) 平成23年度蔵書点検結果について
- 5 平成24年外部資金の応募状況について
- 6 附属図書館年次統計について
- 7 活動報告

◎北図書館委員会

○第158回〈7月27日(金)〉

議 題

- 1 平成23年度北図書館図書費決算について
- 2 平成24年度北図書館図書費予算について
- 3 平成24年度教員選定図書を選定について

報告事項

- 1 北図書館規程の改正について
- 2 北図書館規程に関する申合せの改正について
- 3 平成24年度附属図書館事業計画について
- 4 附属図書館年次統計について
- 5 学生協働の企画について

◎図書担当係長連絡会議

○平成24年度第1回〈7月19日(木)〉

◎図書選定小委員会

○平成24年度第3回〈8月2日(木)〉

◎学術成果刊行助成審査委員会

○平成24年度第1回〈9月26日(水)〉

【学外】

◎北海道図書館連絡会

北海道図書館連絡会議〈7月5日(木)〉(北海道立図書館)

◎北海道地区大学図書館協議会

○平成23年度第5回幹事館会議〈7月5日(木)〉(北海道大学)

○第55回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会(第4回)〈7月6日(金)〉(札幌市立大学芸術の森キャンパス)

○第55回北海道地区大学図書館職員研究集会〈8月17日(金)〉(札幌市立大学芸術の森キャンパス)

○平成23年度第6回幹事館会議〈8月24日(金)〉(公立ほこだてみらい大学)

○第62回総会〈8月24日(金)〉(公立ほこだてみらい大学)

○第55回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会(第5回)〈10月5日(金)〉(札幌市立大学サテライトキャンパス)

◎国立大学図書館協会

○学術情報委員会〈8月7日(火)〉(京都大学)

○人材委員会・同小委員会〈8月22日(水)〉(東京大学)

○教育学習支援検討特別委員会〈9月20日(木)〉(名古屋大学)

◎国連寄託図書館年次会議〈9月6日(木)～7日(金)〉(国連大学)

人事往来 (平成24年 6 月 1 日～平成24年10月31日)

【平成24年 9 月30日付発令】

〔出向〕

綾 田 陽 子 千葉大学附属図書館利用支援企画課アカデミック・リンクグループ専門職員
(附属図書館管理課 (図書受入担当))

【平成24年10月 1 日付発令】

〔採用〕

近 藤 絵理子 附属図書館管理課 (雑誌受入担当)
井 上 雅 史 附属図書館管理課 (図書受入担当)

図書館情報入門・セミナー等開講日誌 (平成24年 7 月 1 日～11月 2 日)

図書館情報入門 (計12回)

日 程	曜日	講義題目 (時間 90分)	所 属	担当教員	受講人数
10月 9 日	火	遺伝子デザイン学入門	地球環境科学研究院	山崎 健一	16
10月10日	水	北海道の魅力をさぐる～地理学からのアプローチ～	文学研究科	橋本 雄一	24
10月11日	木	バイオテクノロジーの展開 (創成科目型)	工学研究院	大井 俊彦	23
10月11日	木	限定合理性と市場の法制度	法学研究科	中川 寛子	19
10月12日	金	素晴らしい無線通信の世界	情報科学研究科	小川 恭孝	22
10月16日	火	日本語文章表現実践－「論文指導」以前－	国際本部 留学生センター	中村 重穂	20
10月18日	木	がん医療とがんの生物学	薬学研究院	柴山 良彦	16
10月18日	木	女性と健康	保健科学研究院	佐川 正	16
10月23日	火	新都市構想～理想的未来都市とは何なのか？～	工学研究院	内田 賢悦	20
10月25日	木	生殖医学 (女性医学) 概論	医学研究科	櫻木 範明	19
10月30日	火	毒と薬	獣医学研究科	石塚真由美	19
10月31日	水	聞く力・話す力のトレーニング	高等教育研究機構	三上 直之	22
受講人数計					236

文献探索ワークショップ (計 7 回)

日 程	曜日	講義題目	所 属	担当教員	受講人数
7 月10日	火	北図書館ガイダンス	国際本部 留学生センター	高橋 彩	6
7 月11日	水	飢餓と飽食	農学研究院	長南 史男	23
10月 9 日	火	多元文化共生論	メディア・コミュニケーション研究院	青山 和佳	5
10月10日	水	英語III 中級リーディング	メディア・コミュニケーション研究院	青山 和佳	40
10月17日	水	参考文献を探す	教育学研究院	丸山美貴子	11
10月23日	火	考古学, 植物考古学	文学研究科	高瀬 克範	19
11月 2 日	金	文献検索講習会	獣医学研究科	長谷部理恵	35
受講人数計					139

ライブラリーセミナー (計 3 回)

日 程	曜日	講義題目	所 属	受講人数
10月29日	月	プレゼンテーションのツボ (アカデミック・サポートセンター×附属図書館 スキルアップセミナー)	附属図書館	21
10月31日	水	プレゼンテーションのツボ (アカデミック・サポートセンター×附属図書館 スキルアップセミナー)	附属図書館	25
11月 2 日	金	プレゼンテーションのツボ (アカデミック・サポートセンター×附属図書館 スキルアップセミナー)	附属図書館	44
受講人数計				90

図書館日誌 (平成24年7月1日～10月31日)

月日	項 目	月日	項 目
7月		9月	
2-13	大学図書館職員長期研修 (利用支援課)	3-12/27	「台湾に渡った北大卒業生たち-第三期」企画展示 (北図書館)
4	国際電子出版EXPO (東京) (利用支援課)	6-7	第54回北海道図書館大会 (北海学園大学)(利用支援課長, 利用支援課)
5	平成23年度第5回北海道地区大学図書館協議会幹事館会議 (利用支援課長, 利用支援課課長補佐)		2012年度国連寄託図書館年次会議 (東京)(利用支援課)
	北海道図書館連絡会議 (道立図書館) (利用支援課長)	7	平成24年度第2回楡蔭編集委員会
6	図書館情報システム入札公告	10	ビブリオバトル首都決戦北大予選会
	平成23年度第4回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会	10-14	北図書館蔵書点検
9	平成24年度国立大学法人北海道大学「学術成果刊行助成」(欧文誌の刊行等)の募集開始	11	rliasionプロジェクトワークショップ(東京歯科大学) (学術システム課)
11	第223回(平成24年度第1回)図書館委員会		JUSTICE版元提案説明会(明治大学)(管理課, 学術システム課)
13	2012年第1回北海道地区私立大学図書館協議会業務研究会(管理課, 利用支援課)	12	平成24年度第6回ホームページ委員会
18	平成24年度第4回ホームページ委員会	13	第4回図書選定小委員会職員委員定例会
	第4回(修学支援)懇話会	13-14	事務情報化講習会ACCESS初級編第1回(利用支援課)
18-20	NACISIS-CAT/ILLワークショップ(軽井沢)(学術システム課)	14	学習支援に関する情報交換会withアカサボ(利用支援課長, 利用支援課)
19	平成24年度第1回図書担当係長連絡会議(大会議室)		本について語り合う「お茶会」(学生協働)
	第3回ビブリオバトル(学生協働)	18	平成24年度研修出張報告会(前期)
20	学術ソリューションセミナー(札幌医科大学)(管理課, 学術システム課)	19	札幌市立高等学校職場体験学習(平岸高等学校3名)(北図書館)
23	CSIヒアリング(NII)(学術システム課長, 学術システム課)	19-21	平成24年度北海道国立大学法人等係長研修(北海道教育大学)(利用支援課)
24	ワークショップDigital Archive Networkの構築に向けて(札幌市中央図書館)(学術システム課)	20	国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会(名古屋大学)(利用支援課長)
27	第158回(平成24年度第1回)北図書館委員会	20-27	国立大学図書館協会海外派遣出張(カリフォルニア州立大学, スタンフォード大学)(利用支援課)
8月		24-10/17	「Introduction to STAND UP TAKE ACTION in Hokudai」パネル展示(本館)
1-11/30	「“エルムの森”の青春-北大生の群像1876-1949」附属図書館・大学文書館共催展示(本館)	26	平成24年度第1回学術成果刊行助成審査委員会(管理課課長補佐)
1-9/19	夏季休業に伴う長期貸し出しの試行実施(本館・北図書館)	26-28	平成24年度機関リポジトリ中堅担当者研修(国立女性教育会館)(学術システム課長, 学術システム課)
1-11/30	共催展示「“エルムの森”の青春-北大生の群像1876-1949」(附属図書館・大学文書館共催)	27	第6回修学支援懇話会(大会議室)
2	平成24年度第3回図書選定小委員会	28	図書館情報システム開札
3-11/30	「“台湾は天然の恩恵裕なる”-植民地台湾を駆けた北大卒業生たち」附属図書館・大学文書館共催企画展示(本館)	10月	
5	2012北海道大学オープンキャンパス	1	「北海道大学附属図書館Facebook」試行開始
6-10/31	国立女性教育会館パッケージ貸出サービス(第6期)開始(北図書館)	1-5	平成24年度漢籍担当職員講習会(初級)(京都大学)(学術システム課)
7	国立大学図書館協会学術情報委員会(京都大学)(館長)	3-12/26	平成24年度国立大学法人北海道大学事務職員英語研修(中級)(上級)(管理課, 利用支援課)
8-10	平成24年度図書館等職員著作権実務講習会(東京大学)(利用支援課)	5	平成23年度第5回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会
17	第55回北海道地区大学図書館職員研究集会(札幌市立大学)	6	ホームカミングデー(部長, 管理課長, 利用支援課長, 学術システム課長)
20-28	図書館実習(北海道武蔵女子短期大学3名, 藤女子大学3名)	11-12	第33回Euiセミナー(琉球大学)(利用支援課)
20-31	図書館実習(筑波大学1名)	17	「STAND UP TAKE ACTION in Hokudai」開催(本館)
22	国立大学図書館人材委員会及び同小委員会(東京大学)(事務部長)		第7回 修学支援懇話会(大会議室)
23	第4回SPARC Japanセミナー2012(NII)(学術システム課)		平成24年度 第7回ホームページ委員会
	第5回(修学支援)懇話会	19	事務情報化講習会ACCESSクエリ編(利用支援課)
23-24	デジタルリポジトリ連合新任担当者研修(筑波大学)(学術システム課)	22	第5回 図書選定小委員会職員委員定例会
24	第62回北海道地区大学図書館協議会総会(はこだて未来大学)(副館長, 部長, 利用支援課長, 利用支援課課長補佐)	22-11/9	図書館連携作業部会(NII)(学術システム課長)
	平成23年度第6回北海道地区大学図書館協議会幹事館会議(利用支援課長, 利用支援課課長補佐)	22-11/9	パネル展示「ビブリオバトル・ノート～北大ビブリオバトルを振り返る～」(本館)
27	図書館情報システム入札締切	23-11/8	「本は脳を育てる」特別展示(北図書館)
27-9/4	北海道大学全学インターンシップ(3名)	25	「図書館年鑑2013」第1回北海道ブロック協力者会議(北海道立図書館)(利用支援課長)
29	札幌市立高等学校職場体験学習(藻岩高等学校3名)(北図書館)	26	第5回SPARK Japan セミナー2012(NII)(学術システム課)
		29-11/2	平成24年度漢籍担当職員講習会(中級)(京都大学)(学術システム課)

北海道大学附属図書館報「楡蔭」(ゆいん) 第142号 平成24年11月30日発行

〈編集〉 「楡蔭」編集委員会

〈発行〉 北海道大学附属図書館 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
TEL : 011-706-2967 FAX : 011-747-2855 ホームページ <http://www.lib.hokudai.ac.jp>